

一般質問



# 湖南市雪寒時の対応、 対策と選挙運営について



湖南維新の会 ● 東良 一成 議員

**湖南市雪寒時の対応、  
対策について**

**問** 融雪剤の散布場所、  
散布方法について

**答** 降雪時及び路面凍結が予測される際に、野洲川に架かる主要橋梁3橋を含む6橋に加え、市道7路線を対象として、専門業者4社へ委託し、計画的に散布を行っています。

**問** 凍結防止剤の散布場所、散布方法について

**答** 地元区や自治会の皆様のご協力のもと、地元区が指定する市内320箇所凍結防止剤を設置、地域の方々に散布作業を担っていただいています。

**問** 現状、凍結防止剤の散布について市民の皆様周知されていないので、雪寒時期、定期的に市民の皆様へ情報発信できないか。  
**答** 今後は、これまで

の地域代表者会議での依頼に加え、広報紙やホームページ等も活用して発信を工夫し、引き続き地域と連携した安全確保に努めていきます。

**湖南市の選挙運営について**

**問** 市内選挙ポスター掲示場の設置数を減らすことはできないか。

**答** 県内の他市(大津市や甲賀市)では、各投票区における山林地区の占有面積等、その他地理的状況を踏まえ、法定数よりも数を減らしている状況もあります。自治体ごとの特別な事情がある場合に設置数を減じることができることから、本市においても人口動態の変化等を勘案して、適正な数のポスター掲示場の設置を検討していきます。



# いじめ問題について



自由民主党湖南市議団 ● 曾我部 一帆 議員

**いじめの現状と対応について**

**答** 令和7年度につきまして、12月末時点において小学校198件、中学校33件と、すでに昨年度末の件数を越えており、いじめ認知件数は近年増加傾向となっています。その要因として、いじめの積極的な認知を進めてきた結果と受け止めています。いじめの積極的認知は、いじめ問題の早期発見、早期解決につながり、いじめ問題の重大化を防ぐことにつながっていると捉えています。

**相談体制について**

**答** 「湖南市いじめ防止対策基本方針」に基づき、担任をはじめ、学年主任、生徒指導や教育相談担当教員、養護教諭等が日常的に相談を受けられる体制を整えています。他にも、

定期的なアンケート調査や教育相談週間を設け、児童生徒が自ら発信しやすい機会を確保しています。また、保護者からの相談につきましても、学校での相談に加え、教育委員会も相談に応じ、関係機関と連携しながら対応しています。

**事案把握時の対応や体制について**

**答** 「湖南市いじめ防止対策基本方針」に基づき、いじめ事案を把握した際には「迅速かつ組織的対応」を基本姿勢として取り組んでいます。中でも、いじめが起こってしまったときには「指導の三原則」を○正確・迅速な事実確認。○いじめられた児童生徒を守りきることを第一に。○徹底した再発防止を、速やかに。と定め、対応しています。